



じりっ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校
進路指導部 第 5 号
発行日 R5. 9. 29 (金)

<2学期がスタートし、一ヶ月がたちました！>

8月末の実力考査、体育祭、2学期中間考査と、忙しくあっという間に9月が過ぎたのではないのでしょうか。2学期も一つ一つにしっかり区切りをつけながら前に進みましょう。過去を振り返り未来から見た自分の現在位置を確認することで、夢の実現や目標達成のために自分がやりたいこと、やるべきことが整理され、夢や目標に対する自分の気持ちも前向きになります。

(1・2年生)

1年生は文理選択、2年生はコース選択を真剣に考える時期です。

1年生) 受験を意識した学習を1年生から始めている人は、基礎の土台をしっかりと固めることができ、高3からの受験勉強に非常に役立ちます。受験勉強の始め方ですが、決して特別な難しい作業をする必要はありません。まずは基礎を固めること。授業で習った内容の中で、自分はどこが得意でどこが苦手なのかを判別するところからまずは始めてみましょう。高校生活はあっという間です。1・2年後を意識しながら、先輩たちの姿をしっかり見ておいてください。

2年生) ライバルに差をつけられないためにも、ライバルに差をつけるためにも、高2冬には本気の受験勉強を始められる態勢を作っておきたいところです。すでに志望校が決まっているのであれば、まずは自分の志望大学の受験情報をよく確認することが大切です。大学のHPの入試要項等で、共通テストや個別試験(二次試験)で必要となる科目、配点、出題範囲などを確認すること。各大学によって力を入れて対策すべき科目が異なり、受験科目・配点も異なるので、受験情報をきちんとチェックして勉強計画を立てることが重要です。もしまだ基礎に不安があるならば、基礎固め・苦手克服が最優先事項だと考えてください。受験にあたって、英語は文系でも理系でもやはり重要度の高い教科となりがちです。また、特に理系は理科の対策を2年生から始めることの重要さは、先輩たちが「THE ROAD TO SUCCESS」や受験報告会などで強調していましたね。

(3年生)

共通テストまで残り4ヶ月を切りました。本格的に推薦選抜や総合型選抜がスタートします。公務員試験も始まりました。

毎月のように行われる模試や過去問演習を重ねながら、今まで身につけてきた基礎的な知識や解法を使って応用的な問題に取り組む力をつけていきましょう。最近では進路室に赤本の確認に来る生徒も増えました。現状の自分の実力と合格ラインまでの差を正確に把握し、それに応じた対策をすることが重要です。この時期は日々の学校生活に加え、出願準備を進めたり、定期考査対策、面接や小論文の対策など非常に慌ただしいですが、一つ一つを計画的にそして確実に完成させていきたいところです。受験した手応えや結果に一喜一憂することもあると思いますが、勉強すれば最後の最後まで伸びる！最後の入試まで全力で走り抜きましょう！

<3年生の10月～12月の動き>

| | |
|-------------------|-------------------------------|
| 10/6～(金・土) | 3年記述模試 |
| 10/15(日) | 各大学プレテスト(九州大・熊本大など) 於:北予備鹿児島校 |
| 10/22(日) | 鹿児島大学プレテスト 於:鹿児島大学 |
| 10/27～(金・土) | 進研マーク模試 |
| 11/11～(土・日) | 全統マーク模試 |
| 11/12(日) | 各大学プレテスト(広島大など) |
| 11/27(月)～11/30(木) | 期末考査(卒業考査) |
| 12/16～(土・日) | 北予備共通テストファイナル模試 |
| 12/27・28(水・木) | バック模試 |

1・2年生は、3年生の動きをよく見ていてください!

<模試を上手に活用しましょう!～何のために模試を受けるのだろう?～>

模擬試験では、定期テストで測ることができない苦手分野を見つけることができます。そして、模試を受けた後の行動が重要です。模試の解答にミスがあったのか、難しすぎて解けなかったのか、時間が足りなかったのか。原因に対してどのような行動をすべきなのかまで考えてください!また解けた問題でも「時間がかかり過ぎた」「勘で当たった」などの問題は要注意ですよ!

次回の模試は、1年生は11月始めに、2年生は10月末に計画されています。

★1年生は、7月の模試より解答時間が長くなります。
(国語、英語60分→80分、数学80分→100分)

★2年生は、地歴、理科の試験が始まります。

<1. 2年生 PTSA の進路指導部講話から>

- 10年後、20年後は自分の力で生きていけるように
今の生活は当たり前ではない。自分の力で生活できるようになるには、やるべき事がたくさんあるはずです。
- 時代は変化する。消える仕事・生まれる仕事。AIと人との共存
AIが出来る仕事が増えている。しかし、人間にしか出来ない仕事もある。
- 日常の意識改革が大事である。日々の蓄積
意識しないと何も変わらない。ちょっとした意識の蓄積で大きく人生は変わる。
- まずはやる(動く、始める、挑戦する)事
あれこれ考える前に実行しよう。仕事出来る人は行動が早い。
- 聞く力を養う。聞き上手になれ。
耳は二つで口は一つ、まずは人の話を聞きなさい。聞き上手は相手の意見や考えをうまく引き出せるし、意識して聞く事でいろんな事が理解できます。また、特に苦手な教科の授業を聞いて理解できるようになると、自分の大きな財産になります。
- 自分の進路は自分の知っている進路の中からしか選ばない。
向上の道(生活の記録)をちゃんと記録していますか?コメントを考えて書いていますか?どんなときに自分が伸びたか、あるいは成績が下がったかが分かります。
- 訂正ノートは自分が出来なかった問題を集めた「自分だけのオリジナルの参考書」です。
模試対策等活用しましょう。意識して訂正しましょう。